

2016年度第4回道連理事会報告

5月11日 全労済会館会議室で2016年度第4回道連理事会を開催しました。議長には堀江理事(全労済)が選ばれ、麻田会長の挨拶の後、議事に入りました。山口専務理事から議決事項①日本生協連第67回通常総会代議員(川原)及び北海道労働金庫第64回通常総代会の代議員(平)の選出について②道生協連役員改選について(前回理事会で確認した選出区分の一部変更提案～道医療生協の女性幹理事▲1名・理事会推薦理事+1名)③地連運営委員の選出(平・林・佐藤)④2017年度各種会費・役員派遣について(会費18団体52.2万円 前年より3件 ▲1件 +3万円・役員派遣37団体)⑤北海道医療生協の2017年度道連会費免除申請について⑥2017年度第61回道生協連通常総会の運営及び議案について提案され議決されました。

川原事務局長から審議事項①LPガス公開学習会報告と今後の取り組みについて②2017年度「福祉問題を総合的に考える委員会」の取り組みについて③堤未果講演会企画(開催日7月31日 13:00 ホテルポ

ールスター札幌・テーマ「報道されないアメリカの真実と守るべき日本の宝」・参加目標500名)提案され承認されました。

山口専務理事から報告事項①一般活動経過報告②2016年度決算報告(経常剰余金254万円)④北海道労金・全労済とコープさっぽろ事業提携推進状況について⑤2017年度道連会費の最終案について(28,806千円 前年差▲1,482千円)⑥2月24日の金子勝講演会報告(参加530名)⑦JR問題勉強会報告⑧ヒバクシャ国際署名の取り組みについて⑨北海道奨学金ネットワークの立ち上げについて(5月18日 設立総会開催)⑩友好団体からの協賛・後援・お知らせ他⑪北海道他からの通知他について報告されました。

佐藤特定監事から③4月27日の第2回監事会の開催と監査報告書の報告がありました。

井形日生協北海道東北地連事務局長から北海道・東北地連報告がありました。最後に小島日生協北海道支所長から北海道支所報告がありました。

福祉問題を総合的に考える会報告

5月17日、第13回福祉問題を総合的に考える会委員会を開催し、2017年度の活動重点課題を確認しましたのでご報告致します。

今回の「考える会」には、13名のメンバーが参加し活発な論議を踏まえて、事務局より提案されました2017年度の活動重点を確認しました。

はじめに、NPOカコタムの高橋理事長から2016年度活動報告書の説明がありました。

内容は、この一年学習支援活動は順調に推移し、新たに「ゆるきち」の取り組みもスタートして、スタサボ事業参加の子供たちは、前年比140%に増え、寄せられた支援金は400万円に達し、マスコミでも多数報道されたことが報告されました。

次に、2017年度「福祉問題を総合的に考える会」取り組み重点課題について次の様に提案されました。

(1)子ども食堂推進サポート活動①北海道子ども食堂応援ネットワークづくりと運営推進サポート②秋に、貧困化問題と子ども食堂を考える、公開学習会を検討する(コープさっぽろ社会福祉基金との連携も追及します)③JAグループ北海道と「子ども食堂」との連携サポート(JAとの連携の一環)お米・規格外野

菜提供、JAのインフラ活用及び事務局への参画要請

(2)「まる元・ゆる元」運動のサポート活動①行政ルートとして道庁保健福祉部 福祉局 高齢者保健福祉課への働きかけ強化昨年は、高齢者保健福祉課主催の福祉フォーラムで「まる元」が実践報告を行い、その後のまる元広がりの一助となりました。②日生協ルート、組織推進本部 地域・コミュニティー推進部局との連携強化北海道東北地連内の取り組み支援、「ゆる元指導者」養成講習会開催サポート③JAグループ北海道ルートの新規開発、JA厚生連と連携しJAインフラの活用④コープ共済連「CO・OP共済健康づくり支援企画」受託サポート⑤「まる元」サミット開催のサポート、今年秋に開催を企画する まる元運動を実践している、21の市町村から、行政(課長クラス)・実戦部隊、健康運動師、参加者代表などに集いいただき、複数テーマでパネルディスカッションを企画し、会場には行政(国と道庁に働きかける)・日生協・コープ共済連・東北地連・JAグループ北海道・マスコミ関係者等にも参加を呼び掛ける。

上記事務局提案に基づいて意見交換があり、2017年度重点課題として確認されましたのでご報告致します。

旭川市で、上野千鶴子氏講演会に334人が来場

「自分らしい老後の生活をつむぐ～家族に代わるあらゆる資源と繋がって～」上野千鶴子氏講演会が、5月19日(金)午後2時から午後3時半まで旭川市民文化会館小ホールにて開催されました。あさひかわ福祉生活協同組合が主催し、組合員や市内生活協同組合・NPO法人・民主団体で構成する実行委員会が中心となって行われ、318席満席の会場は笑い声でいっぱいの元気な講演会となりました。冒頭、萩原代表理事が銀座通内科クリニックの開院の紹介をしました。

団塊世代が後期高齢者になる2025年問題について、政府の医療・福祉改革は「ほぼ在宅、ときどき病院」と家族介護の必要な在宅へ誘導します。上野さんは独居高齢者が増加する中「家族介護力を期待できない独居高齢者の在宅をどう支えるのか」そして「ひとりが悪いか？むしろ家に居たい年寄りが家に居られないのは家族に対する配慮ではないか。」と投げかけます。多くの方が在宅での生活を望む中、在宅で最期まで生活するために必要なことは何か、日本中の事例や在宅診療、訪問看護、訪問介護という資源を紹介しながら、条件づくりの重要性を説きます。そして欲しいサービスがあれば在宅看取りが出来る、独居でもできると強調します。さらに、在宅ひとり死の条件は外野のノイ



ズがないことや関係者が少ないことであり、一番重要なことは自己決定できることである。介護する側が決定するのではなく、自分の生活や生き方を自己決定することであると説きます。

上野さんの講演は、軽快なテンポで聴く人に分かりやすく、介護の深刻な話も笑って聴ける、おひとり様っていいなと思える不思議な力がありました。

来場者の感想にも、「私も既におひとり様。これからの生き方・死に方に良い示唆を頂きました。万人は一人のために、一人は万人のためにという助け合いのシステムの中でできることが沢山あります。福祉生協に期待します。」「楽しく分かりやすい講演で、自分の老後を(今65歳で、老後の入り口を実感しています)深く考えるきっかけとなりました。」など、沢山寄せられました。

今回のテーマにぴったりの講演となりました。サイン会や上野さんを囲んで交流会も行われました。

今と同じ生活を明日も続ける、このことを生活者が自分のこととして、関わってつくりと呼びかけた研究会にも興味を持ってくれた方が多く、講演会の目的の一緒に考え・つくる仲間ふやしが一歩進みました。



道連第61回通常総会のご案内

当連合会の第61回通常総会を下記の要領にて開催いたしますのでご案内申し上げます。

記

- | | | | |
|---------|--|-------|-----------------------------|
| 1. 開催日時 | 2017年6月19日(月)午後1時より | 第2号議案 | 2016年度事業報告書及び決算関係書類の承認・監査報告 |
| 2. 開催場所 | ホテルポールスター札幌
札幌市中央区北4条西6丁目
(TEL 011-241-9111) | 第3号議案 | 2017年度活動計画及び予算決定の件について |
| 3. 議 題 | | 第4号議案 | 役員報酬決定の件について |
| 第1号議案 | 2016年度活動報告承認の件について | 第5号議案 | 役員選任の件について |
| | | 第6号議案 | 議案決議効力発生の件について |